公立豊岡病院組合
Toyooka Public Hospitals' Association
豊岡病院 | 出石医療センター | 朝来医療センター | 日高クリニック
兵庫県豊岡市戸牧1094　TEL0796-22-6111(代表)　http://www.toyookahp-kumiai.or.jp

発行部数：51,300部
配布エリア：豊岡市、朝来市、香美町
発行月：2月、5月、8月、11月
発行：公立豊岡病院組合
取材・文：真田 正裕(38knot)
編集・デザイン：株式会社 オー デザインチャンネルズ
印刷：株式会社 北星社

介護する方の休息も、大切なケアの一部です。

レスパイト入院をご存じですか？

在宅で介護を続けていると、「少し休みたい」「自分の用事を済ませたい」「数日家を空けたい」ということもあります。そんな時、介護が必要な方に短期間入院していただき、ご家族を支えるのが「レスパイト入院」です。出石医療センターと朝来医療センターで受け入れています。



こんな時にご利用ください

- 旅行・外出　●冠婚葬祭
- 介護疲れ　●介護者の病気、入院

病院だから安心！医療的ケアにも対応しています

医療的ケアが必要なために、ショートステイの利用が難しい方もご相談ください。医療スタッフが24 時間対応し、安心して療養していただける環境を整えています。



24時間体制の医療・看護　／　胃ろう・経管栄養・在宅酸素対応　／　最長14日間利用可能

利用したいと思ったら、まずはご相談ください

まずはかかりつけの先生または担当のケアマネージャーに、レスパイト入院の意思をご相談ください。あわせてご利用希望日・期間をお伝えください。



費用のめやす

1割負担の方が7日間利用した場合　**約4~5万円**

※医療保険を利用した入院となります。レンタルセットや個室利用時には別途料金が必要です。
詳しくは各医療センターへお問い合わせください。

お問い合わせ

出石医療センター地域医療連携室　TEL.0796-52-2555
朝来医療センター地域医療連携室　TEL.079-672-3999

令和8年 第2回公立豊岡病院組合議会7月定例会が開催されました。

7月7日から8月4日まで開催された公立豊岡病院組合議会の議案と結果について、ホームページからご覧いただけます。

問い合わせ：公立豊岡病院組合議会・監査事務局TEL 0796-22-6111（内線2020）

議会ホームページ

読者アンケートにご協力ください。

いつも公立豊岡病院組合広報紙『ほすぴたる』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。皆さまにより親しまれ、お役に立てる紙面づくりのため、ぜひお声をお聞かせください。

豊岡病院
救急外来の適正受診にご協力ください

地域の救急医療を安定して維持し、緊急性の高い患者さんに迅速かつ適切な医療を提供するためには、住民の皆さまのご理解とご協力が不可欠です。受診すべきか迷ったときは、以下の相談窓口をご活用ください。

【ご活用いただける救急相談窓口】

- ●救急安心センターひょうご（☎ #7119）
- ●全国版救急受診ガイド（愛称「Q 助 」）→
- ●但馬地域小児救急医療電話相談（☎ 0796-22-9988（きゅうきゅうはは））
- ●兵庫県の子ども医療電話相談（☎ #8000 ）

今後も、地域の救急医療を確実に提供できるよう体制整備に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします

医師異動のお知らせ

（令和8年7月2日～令和8年10月1日）

新任

氏名	病院	診療科		日付
赤松　歩実　あかまつ　あゆみ	豊岡	呼吸器内科	医員	令和8年10月1日
東中　友紀　ひがしなか　ともき	豊岡	小児科	医員	令和8年10月1日
今西　遼太　いまにし　りょうた	豊岡	小児科	医員	令和8年10月1日
田邊　大季　たなべ　だいき	豊岡	脳神経外科	医員	令和8年10月1日
前田　一郎　まえだ　いちろう	豊岡	脳神経外科	医員	令和8年10月1日
八木　咲良　やぎ　さくら	豊岡	救急集中治療科	医員	令和8年10月1日
山中　一誠　やまなか　いっせい	豊岡	救急集中治療科	医員	令和8年10月1日

退職

氏名	病院	診療科		日付
羽田　拓史　はだ　たくみ	豊岡	救急集中治療科	医員	令和8年7月31日
梅村　優宇　うめむら　ゆう	豊岡	救急集中治療科	医員	令和8年8月31日
佐田　崇典　さだ　たかのり	豊岡	循環器内科	医員	令和8年9月30日
大西　裕人　おおにし　ゆうと	豊岡	小児科	医員	令和8年9月30日
下山　茜　しもやま　あかね	豊岡	小児科	医員	令和8年9月30日
岐田　遼太郎　きだ　りょうたろう	豊岡	整形外科	医員	令和8年9月30日
松木　泰典　まつき　やすのり	豊岡	脳神経外科	医長	令和8年9月30日
中村　啓介　なかむら　けいすけ	豊岡	脳神経外科	医員	令和8年9月30日
塚本　英里　つかもと　えり	豊岡	救急集中治療科	医員	令和8年9月30日
今西　慶一郎　いまにし けいいちろう	豊岡	救急集中治療科	医員	令和8年9月30日

公立豊岡病院組合の最新情報を発信しています！

フォローお願いします！
組合公式 Instagram

但馬の医療を綴る ―
ほすぴたる
2026年11月
公立豊岡病院組合広報紙
第125号



その息切れや動悸、「年齢のせい」ではないかもしれません

［特集］
- 見逃さないでください心臓からのSOS
- 「下肢静脈瘤」も、心臓血管外科へ

［知って中の仕事］
- RRS（Rapid Response System：院内迅速対応システム）

［お知らせ］
- レスパイト入院をご存じですか？

豊岡病院
心臓血管外科

**心臓や血管の病気には、症状に気づきにくいものもあります。
今回は、但馬地域の心臓・血管医療を支える豊岡病院心臓血管外科の田中仁医師に、診療科の特徴や地域で担う役割、年齢とともに気をつけたい心臓の病気について話を聞きました。**

――豊岡病院の心臓血管外科は、どのような診療科ですか

心臓弁膜症や虚血性心疾患など、心臓の手術をする診療科というイメージがあると思いますが、それだけではありません。大動脈解離や下肢静脈瘤など、心臓から大動脈、手足の血管まで幅広く診察し、手術を行っています。



豊岡病院 呼吸器・心臓血管外科医師

――但馬地域で、どのような役割を担っているのでしょうか

当科は、但馬・丹後地域で唯一の心臓血管外科です。「遠くの病院まで行かず、住み慣れた地域で治療を受けたい」そんな地域の皆さまの思いに応えることも、私たちの大切な役割です。心臓や血管の手術が必要になったとき、身近な地域で治療を受けられることには、大きな意義があると考えています。

――緊急時の対応も必要ですね

急性心筋梗塞や大動脈解離など、心臓や血管には一刻を争う病気があります。そのため、夜間や休日も含め、基本的に24時間対応できる体制を整えています。

――高齢の患者さんを診療するうえで、大切にしていることは何ですか

高齢になると、心臓の病気だけでなく、高血圧や糖尿病、腎臓病など、複数の病気を抱えている方も多くなります。そのため、心臓だけを診るのではなく、患者さんの全身状態を見ながら治療することが大切です。豊岡病院では、院内のさまざまな診療科と連携しながら治療できることも強みだと思います。

――では、心臓血管外科として、高齢の方に気をつけてほしい心臓の病気はありますか

代表的なものとして「心臓弁膜症」があります。息切れや動悸、疲れやすさなどの症状があっても、「年齢のせい」と思って見過ごされていることがあります。

特に、同年代の人と一緒に歩いていて自分だけついていけなくなったなど、以前と比べて何か違うと感じたら注意してほしいですね。

表面で田中医師が挙げた「心臓弁膜症」。
高齢になるほど注意したい病気の一つですが、その症状は
加齢による体の変化と似ているため、
気づかないまま進行していることがあります。

見逃さないでください 心臓からのSOS

こんな症状はありませんか?

息切れやドキドキ　足のむくみ　疲れやすさ　立ちくらみ
こうした症状は、「心臓弁膜症」のサインかも…

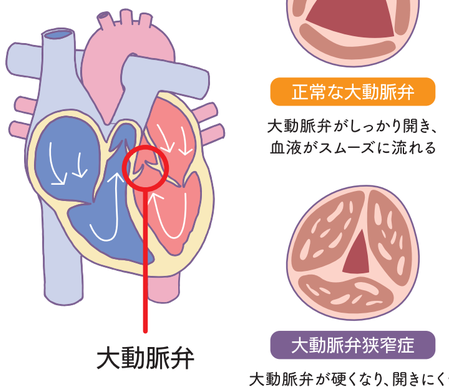


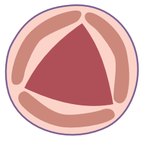
高齢者に多くみられる「大動脈弁狭窄症」について

心臓には4つの弁があります。弁は本来、血液が流れるときに開き、流れ終わったら閉じて、血液が逆流しないように機能します。この弁の働きが悪くなった状態を「心臓弁膜症」といい、誰もがかかる可能性のある病気です。その心臓弁膜症の一つである「大動脈弁狭窄症」は高齢者に多くみられるとされています。

大動脈弁が硬くなって開きにくくなることで、心臓へ負担がかかり、息切れやむくみなどの症状が現れます。

大動脈弁狭窄症





正常な大動脈弁

大動脈弁がしっかり開き、血液がスムーズに流れる

大動脈弁狭窄症

大動脈弁が硬くなり、開きにくくなって血液の流れが悪くなる

気づかないまま、進んでいることも

「大動脈弁狭窄症」は、初期には、自覚症状がない患者さんも多く、症状があっても加齢による体の変化と似ているため、「年齢のせい」と見過ごされがちです。

例えば、「以前より疲れやすいから、家でゆっくり過ごそう」と無意識に体を動かさなくなったり、「坂道を上がるのがしんどくなった。年齢のせいかな」と、体の変化を加齢によるものと思い込んでいたりすることがあります。

しかし、そうした変化をそのままにしていると病状が進行し、心不全や胸の痛み、さらには失神を引き起こすこともあります。

適切なタイミングで治療することが大切です

「大動脈弁狭窄症」は徐々に進行し、自然に治る病気ではありません。そのため、重症化する前の適切なタイミングで治療することが大切です。

豊岡病院心臓血管外科では、検査や薬物治療を行いながら経過を観察し、病態に応じた適切な時期に手術治療を検討しています。

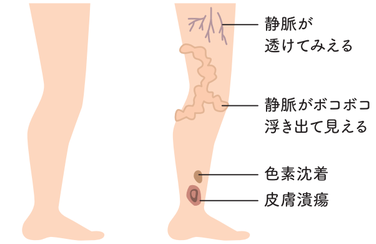
診療日／火曜日・木曜日・金曜日
受付時間／8:00～11:00

※但馬地域で唯一の診療科のため、非紹介患者初診加算料（7,000円）はかかりません。

「下肢静脈瘤」も、心臓血管外科へ

「足の血管がボコボコと浮き出てきた」「夕方になると足がむくむ」「寝ているときに足がつる」このような症状がある場合、下肢静脈瘤が関係している可能性があります。

下肢静脈瘤は、足の静脈にある弁がうまく閉じなくなり、血液が逆流することで静脈が拡張し、蛇行した状態です。進行すると、皮膚硬化、色素沈着、血栓性静脈炎などを起こすことがあります。その場合、心臓血管外科で診察や治療を受けられます。当院心臓血管外科は心臓だけでなく、下肢静脈瘤の手術にも対応しています。



田中医師からのメッセージ

「息切れする」「以前より疲れやすくなった」といった変化を、年齢のせいと決めつけないことが大切です。気になる症状があれば、まずはかかりつけ医に相談してください。当科では、予約なしで直接来院された場合でも診察していますので、気になる症状をそのままにしないでください。



呼吸器・心臓血管外科 部長
田中 仁（たなか・じん）

知って中の仕事　RRS（Rapid Response System：院内迅速対応システム）

RRS（Rapid Response System：院内迅速対応システム）は、入院中の患者さんの「いつもと違う小さな変化」をいち早く捉え、重症化や心停止・呼吸停止を防ぐために専門スタッフが迅速に対応する仕組みです。患者さんの安全を守るRRSについて、紹介します。



患者さんの状態を確認し、重症化を防ぐために迅速に対応するRRSスタッフ

――どのような場面で必要となるのでしょうか

入院中に患者さんの容体が急に悪くなったときや、病棟スタッフが「いつもと様子が違う」「このままでは危険かもしれない」と感じたときに要請が入ります。主治医が手術や外来診療などですぐに対応できない場合でも、迅速にRRSチームが駆けつけます。

――どのような流れで対応が行われますか

病棟から要請を受けると、平日の時間内は研修を受けた医師・看護師・医療技術職で構成するチームが対応します。夜間・休日は救急病棟の医師・看護師が対応。原則15分以内に病棟へ駆けつけ、患者さんの状態を確認し、必要な治療や検査を行います。

――RRSによって重症化を防げたケースはありますか

酸素の状態が急に悪くなった患者さんに対して、すぐに診察と処置を行い、気道がふさがるなどの重篤な状態に進行する前に対応できたことがあります。異変に早く気づき、重症化させないよう早期に対応することがRRSチームの大切な役割です。

――活動する上で大切にしていることは何ですか

RRSチームは、病棟スタッフからの連絡があって初めて動きます。そのため私たちは、「呼んでくれてありがとう」という気持ちを大切にし、「いつでも気軽に相談できる」存在であることを目指しています。

――地域の皆さんへメッセージをお願いします

入院中の患者さんの小さな体調の変化も見逃さず、迅速に対応できる体制を整えています。これからも地域の皆さんに安心して入院生活を送っていただけるよう、患者さんの安全を守る取り組みを続けていきます。



RRS チーム

豊岡病院　がん患者サロン・チューリップの会を開催しました

6月10日、「がん患者サロン・チューリップの会」を開催しました。今回は、管理栄養士による「食べる力を生きる力に」をテーマとした講話のほか、栄養補助食品の展示や試供品の配布を行いました。初めて参加された方もおられ、患者さん同士やスタッフ、サポーターとの交流を深める有意義な時間となり大変好評をいただきました。



栄養補助食品について管理栄養士が説明

【次回開催予定】　2027年2月10日（水）
詳細については、がん相談支援センターにお気軽にお声がけください。
がん患者さんやご家族の皆さまのご参加を心よりお待ちしています。

TOPICS　各病院のお知らせ情報

豊岡病院



夏休み親子オープンホスピタルを開催しました

8月8日（土）に開催した小中学生向けお仕事体験イベントに、23組の親子が参加しました。手術室でのロボット手術体験や脳血管治療・脳腫瘍摘出体験、気管支鏡体験など計11職種の体験に挑戦し、普段は見ることのできない医療の現場に触れ、多様な専門職の仕事を楽しみながら学びました。今後も地域の子ども達に医療の魅力を伝える取り組みを続けてまいります。

出石医療センター



流行前に予防接種を!

インフルエンザの流行に備え、予防接種を実施しています。ワクチンは接種してすぐに効果が出るわけではなく、体内に十分な免疫ができるまで約2週間かかります。流行が始まってからでは間に合わないこともあります。ご自身やご家族を守るため、ぜひお早めにご予約ください。

朝来医療センター



生活習慣病教室を開催しました!

10月14日（水）、患者さん向けの生活習慣病教室を開催しました。リハビリスタッフからは隙間時間にできる手軽な運動療法について、管理栄養士からはバランスのよい食事と野菜・果物のはたらきについてお話しました。参加者の方からの質疑にお答えする場面もあり、大盛況に終えることができました。これからも地域の皆様の健康増進をスタッフ一丸となってサポートしてまいります。

日高クリニック

『地域連携栄養指導』のご案内

日高クリニックでは、地域連携の一環として、連携医の先生のご依頼を受けて管理栄養士が栄養指導を行う、『地域連携栄養指導』を実施しております。

生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症など）や特定健康診査により指導の対象と判断された患者さんに対し、疾患や個人に合わせた栄養指導を行います。

～栄養指導対象となる疾患～

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、高度肥満症（BMI30以上）、痛風・高尿酸血症、慢性腎臓病、糖尿病性腎症、人工透析、潰瘍性大腸炎・クローン病、胃潰瘍・十二指腸潰瘍

※訪問栄養指導のご依頼も承ります。
お問い合わせ：
日高クリニック　管理栄養士